

51 ヤマトクビキレガイ

(クビキレガイ科)

兵庫県ランク:A

Truncatella pfeifferi

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道南部から南西諸島に分布する。波の影響をあまり受けない飛沫帯上部で、ノッチの最奥部や堆積した転石の最下部のやや砂混じりの腐植土、打ち上げごみなどが溜まっているような場所に生息する。殻長約6~7.5mm、殻径約2.4~2.8mm。殻は小型、細長く堅固である。殻頂は若齢個体では鋭く尖るが成長すると欠落し、成熟個体では太さが一様な棍棒状になる。殻色は赤橙色から黄白色。殻表には規則的な縦肋が密に現れるが、ときに平滑な個体もある。殻口は丸く、やや広がって重複唇になる。蓋は石灰質。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			○

県内分布

たつの市、豊岡市、新温泉町、洲本市、南あわじ市

県内における生息状況及びその他特記事項

ランク変更なし。但馬の海岸地帯では複数の生息地を確認したが、どの生息地も局所的である。播磨灘沿岸では離島で確認されたのみで、個体群としては非常に小さい。同じような環境は各所にあるが、現状では産地の追加ができない。淡路島の主要な生息地は中部で、内湾に面した海浜部の飛沫帯に生息し、個体数は比較的が多い。

保護上の留意点

確認された生息地はいずれも範囲が狭く、また生息に適した環境条件が限定的であると考えられる。沿岸部の道路整備や護岸工事などによって生じた周辺環境の変化が、生息地の個体群に与える影響が懸念される。



写真提供：川渕千尋



写真提供：増田修

【執筆者】 宇野明, 川渕千尋, 増田修